XenApp Essentials Service 評価ガイド

内容

1. システム要件 3
1.1. Microsoft Azure 3
1-2. Citrix Cloud 3
1-3. ドメインコントローラー 4
1-4. 互換性 4
2. XenApp Essentials Service の展開 5
2-1. Microsoft Azure Account のセットアップ 5
2-2. Azure Subscription の設定 6
2-2-1. リソースグループの作成 6
2-2-2. 仮想ネットワークの作成 7
2-3. ドメインコントローラーの構成 9
2-4. Citrix Cloud の構成 25
2-4-1. マスターイメージの準備 25
2-4-2. Azure Subscription へのリンク設定 32
2-4-3. カタログの作成 38
3. アプリケーションの発行 47
APPENDIX 52
セットアップパラメータ 52

1. システム要件

1.1. Microsoft Azure

XenApp Essentials を展開するには、Microsoft Azure に以下が必要です。

・Azure サブスクリプション

・Azure Active Directory のアカウント

※ このアカウントはサブスクリプションの管理ができる必要があり、且つ Microsoft アカウントではない必要があります。

1-2. Citrix Cloud

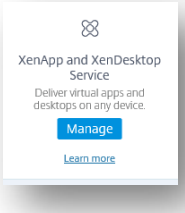
・XenApp Essentials Service を設定するための Citrix Cloud アカウント

項目	Sample
Citrix Cloud アカウント	<account name>@<your domain>

【Citrix Cloud ログイン URL】

https://accounts.cloud.com/core/login?signin=18bd445abba96b3cff3ed791c33c2226

上記にログインし、[XenApp and XenDeskTop Servie] の [Manage]ボタンから、下記 Overview のページが見れるようにして下さい。



1-3. ドメインコントローラー

XenApp Essentials Service が利用するドメインコントローラーと、そのドメインに XenApp Essentials Service を提供するユーザー（Domain Admins、Enterprise Admins のグループに所属）が必要となります。

XenApp Essentials Service が Azure 上に自動作成するサーバーがドメイン参加をします。既存のドメインコントローラーを利用する場合、ネットワーク経路やファイアウォール等、十分に検討してから XenApp Essentials Service の導入を行ってください。

また、XenApp Essentials Service で利用するための OU もあると望ましいです。

本書では、Azure 上に新たにドメインコントローラーを作成するものとして手順に記載しています。

1-4. 互換性

XenApp Essentials の管理コンソールは以下のブラウザで開く事ができます。

・Internet Explorer

・Google Chrome

2. XenApp Essentials Service の展開

2-1. Microsoft Azure Account のセットアップ

XenApp Essentials Service の設定を行う前に、Microsoft Azure で以下のタスクを実行します。

・Azure Subscription の作成
・作成したサブスクリプションに対して管理権限を持つ Azure Active Directory ユーザーの作成。このアカウントは、以降 Global Administrator と称します。

サブスクリプションを新規に作成する事は必須ではありませんが、XenApp Essentials Service を利用するにあたり、本検証のシナリオでは、最小でも 5 サーバーのリソースが必要なため、十分なリソースが利用できるサブスクリプションを使用して下さい。

また、サブスクリプションは新らたに作成したものとして記述していますが、既存のサブスクリプション、リソース グループ等を利用することも可能です。

項目	Sample
サブスクリプション	CitrixLab
Global Administrator	<account name>@<subscription domain>

2-2. Azure Subscription の設定

2-1 で準備した Azure Subscription に、リソースグループ、ドメインコントローラー、仮想ネットワークを作成します。

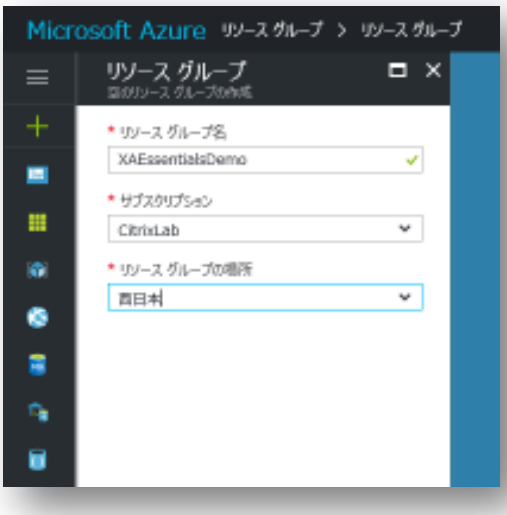
既存のものを利用する場合でも以降に記載されている設定内容の確認を行い、環境を整えた上で利用して下さい。

2-2-1. リソースグループの作成

Azure Portal よりリソースグループを作成します。

「+ 新規作成」から「リソースグループ」をクリックし、リソースグループ名、サブスクリプション、リソース グループの場所を入力します。

項目	Sample
リソースグループ名	XAEssentialsDemo
サブスクリプション	CitrixLab
リソースグループの場所	西日本



[作成] をクリックし、リソースグループを作成します。

2-2-2. 仮想ネットワークの作成

作成したリソースグループに仮想ネットワークを作成します。仮想ネットワーク名、リソースグループと場所以外は既定値を利用します。

※ サブネット名は英字を利用しなければならないので「default」に変更しています。

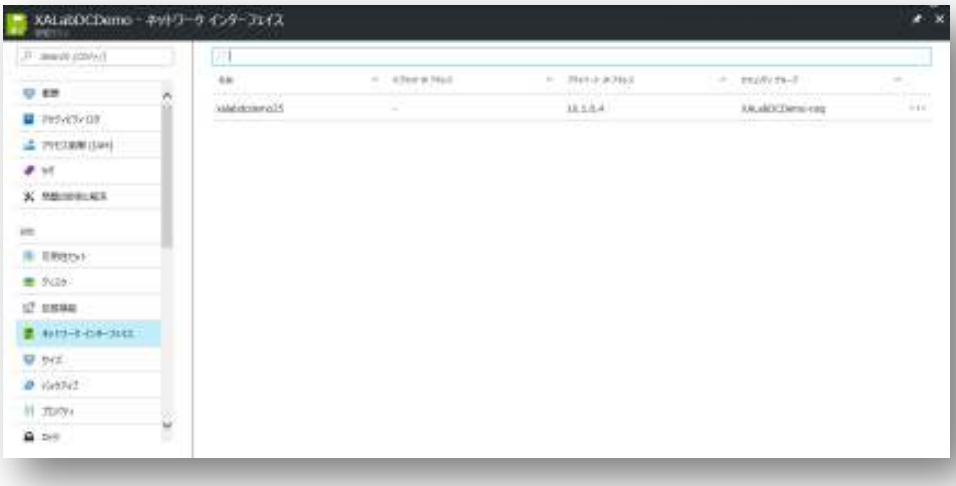
項目	Sample
仮想ネットワーク名	XA-VnetDemo
アドレス空間	10.1.0.0/24
サブネット名	default
サブネット アドレス範囲	10.1.0.0/24
リソースグループ	XAEssentialsDemo
場所	西日本

入力後、[作成] をクリックし、仮想ネットワークを作成します。

【仮想ネットワークの DNS 設定】

Citrix Cloud と通信を行うために、パブリック DNS の設定を行います。設定は Azure Portal の仮想ネットワークの設定から、プライマリ DNS にドメインコントローラーの IP アドレス、セカンダリ DNS に 168.63.129.16 (Microsoft DNS Server) を指定します。
本手順の現時点では、ドメインコントローラーの IP アドレスは不明ですので、ドメインコントローラーの仮想マシンを作成してから行ってください。

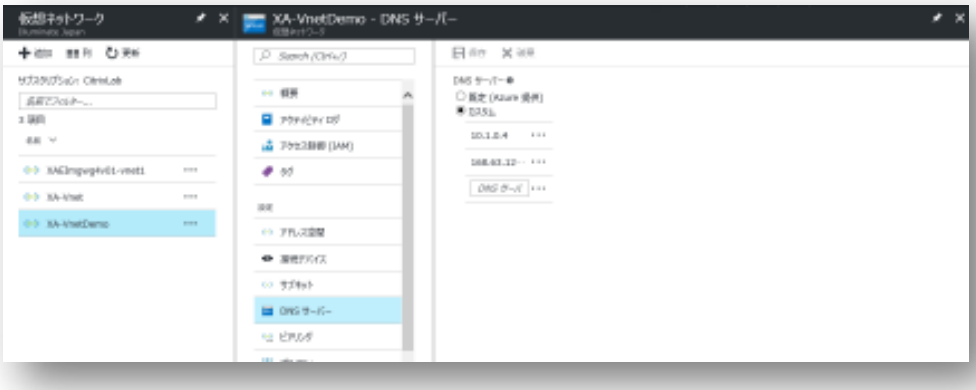
ドメインコントローラーの IP アドレスを確認（今回の環境では 10.1.0.4 ）。



仮想ネットワーク（XA-VnetDemo）に DNS を設定する。

プライマリ DNS ： 10.1.0.4

セカンダリ DNS ： 168.63.129.16



2-3. ドメインコントローラーの構成

XenApp Essentials Service で利用するドメインコントローラーを準備します。ドメインコントローラーの要件としては以下を満たしておく必要があります。

- 3-2-2 で作成した仮想ネットワークに作成する仮想マシンが、ドメイン参加のできるネットワークにドメインコントローラーを配置。

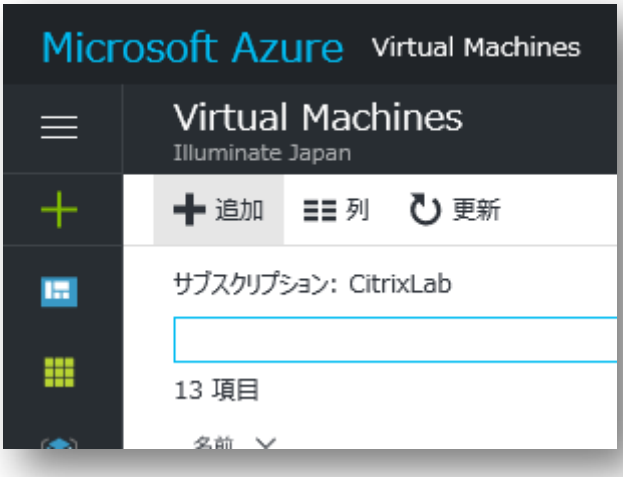
本評価では、作成したリソースグループ及び仮想ネットワーク内に、ドメインコントローラーを用意します。また、OS 及び IP アドレスは以下のようにしました。

- Windows 2012 R2 Datacenter
- プライベートの固定 IP アドレス

次頁より手順を追って説明します。

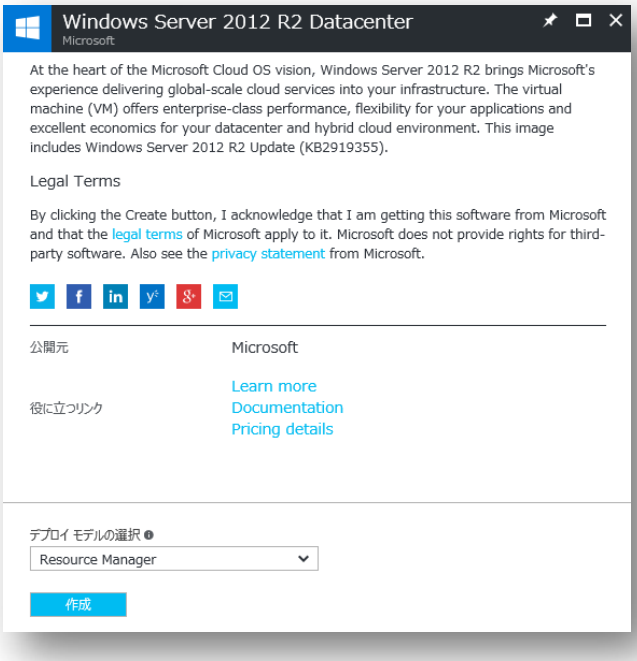
【ドメインコントローラー用の仮想マシン作成】

Azure Portal の Virtual Machines より、「＋追加」を選択します。



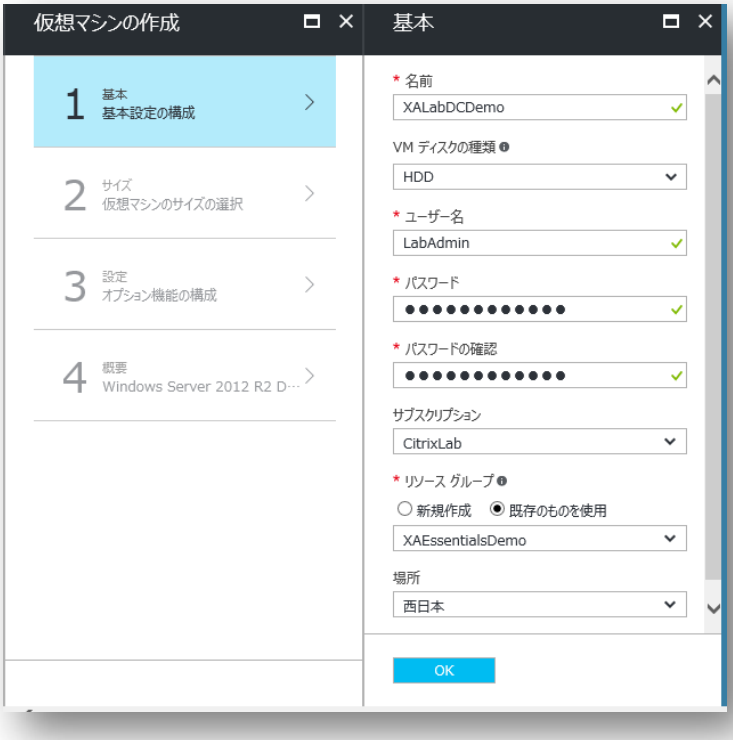
以下、画面に従って必要パラメータを入力し、仮想マシンを作成します。

項目	Sample
OS	Windows Server 2012 R2 Datacenter
デプロイモデル	Resource Manager



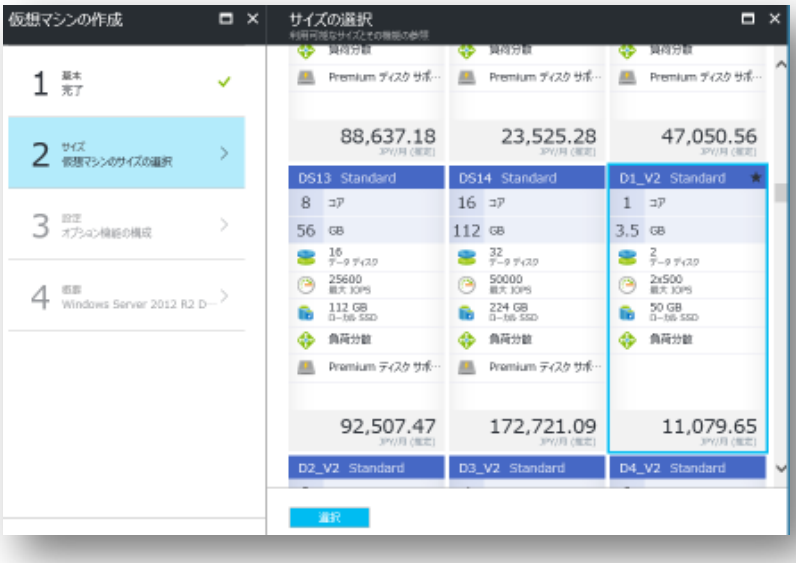
【基本設定の構成】

項目	Sample
名前	XALabDCDemo
VM ディスクの種類	HDD
ユーザー名	LabAdmin
パスワード	------
サブスクリプション	CitrixLab
リソースグループ	XAEssentialsDemo
場所	西日本



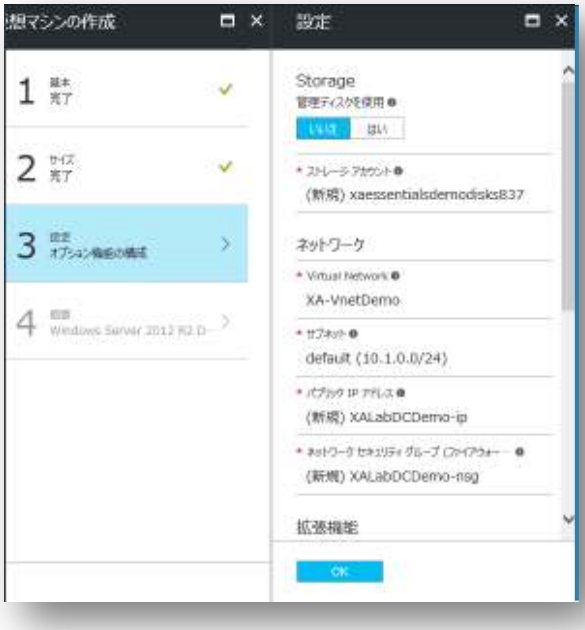
【仮想マシンのサイズの選択】

項目	Sample
仮想マシンのサイズ	D1_V2 Standard

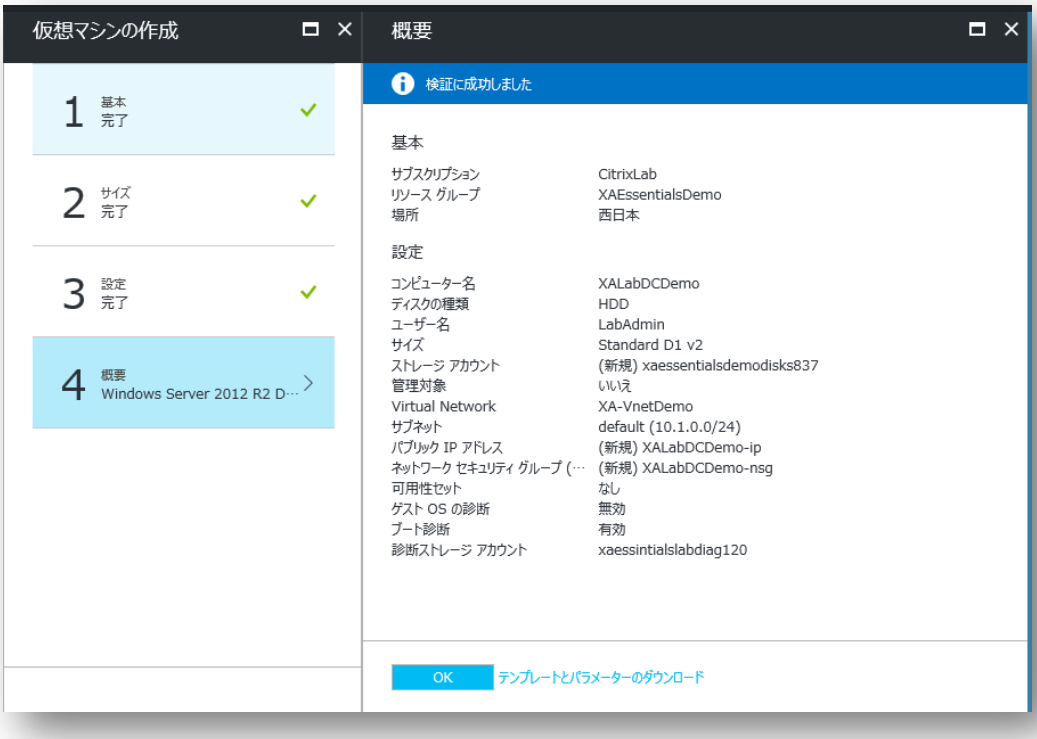


【オプション機能の構成】

項目	Sample
管理ディスクを使用	いいえ
ストレージアカウント	xaessentialsdemodisk837　（自動）
Virtual Network	XA-VnetDemo
サブネット	default(10.1.0.0/24)
パブリック IP アドレス	XALabDCDemo-ip
ネットワークセキュリティグループ	XALabDCDemo-nsg
拡張機能	拡張機能なし
可用性セット	なし
ブート監視	有効
ゲスト OS の診断	無効
診断ストレージアカウント	xaessintialslabdiag120　（自動）

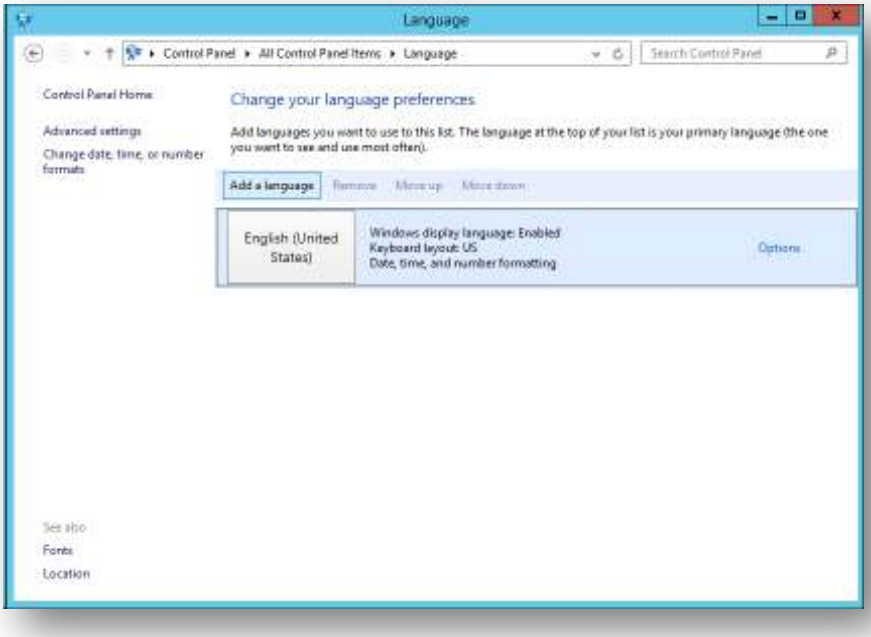


【概要】

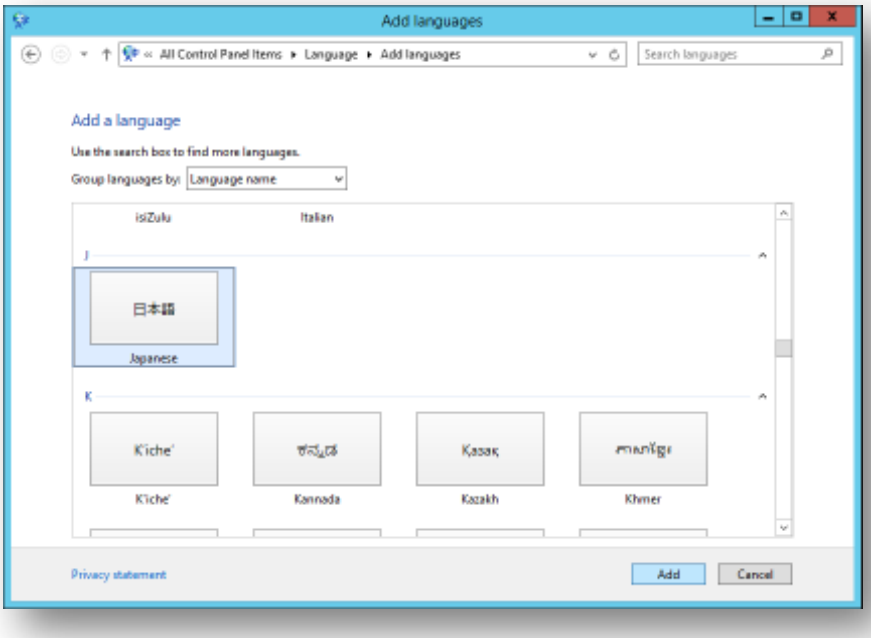


仮想マシンが作成できたら、作成した仮想マシンに［接続］します。

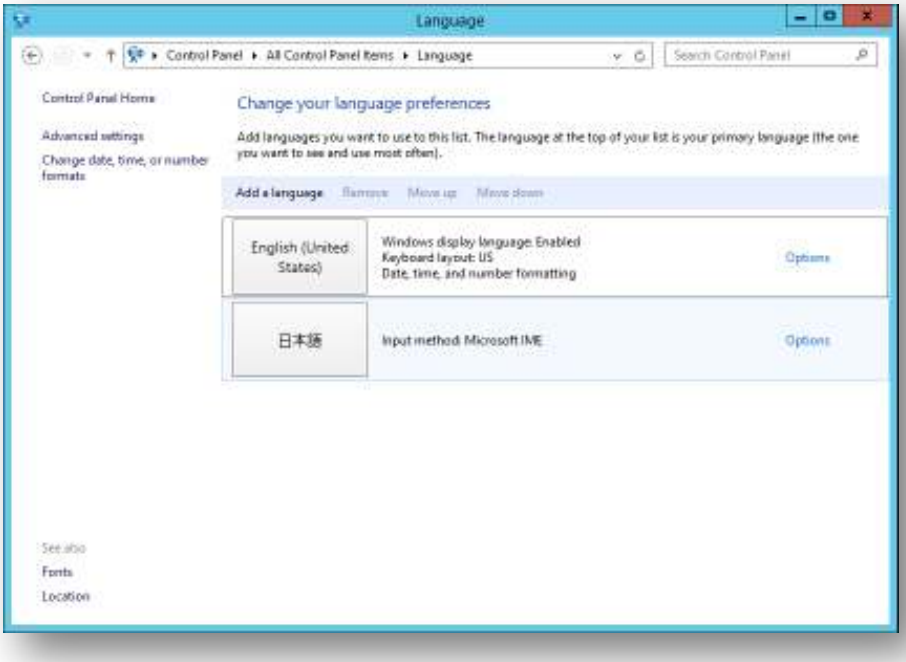
作成したそうマシンに接続後、[コントロールパネル] – [Language] から、[Add a language] をクリックします。



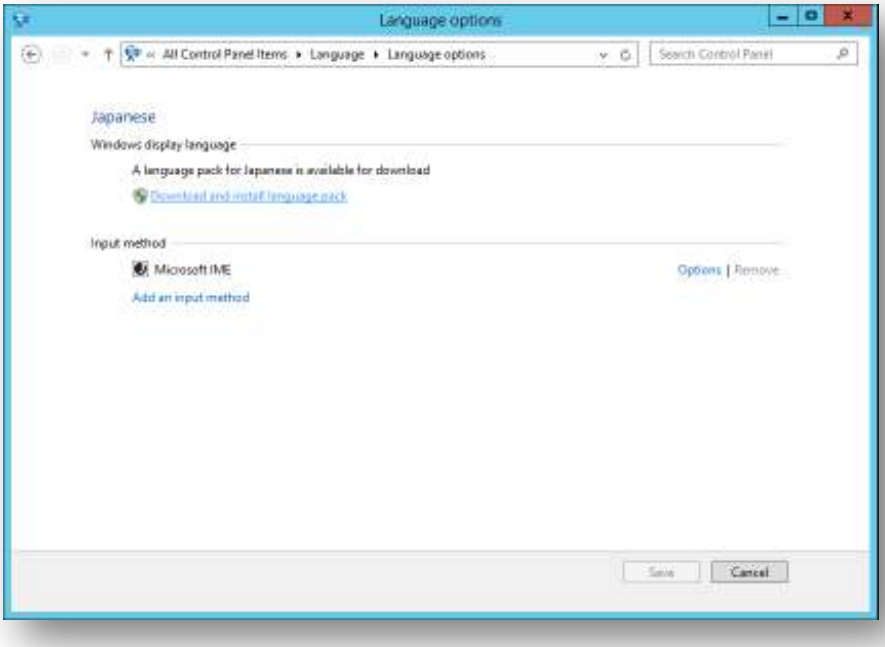
日本語を選択して [Add] をクリックします。



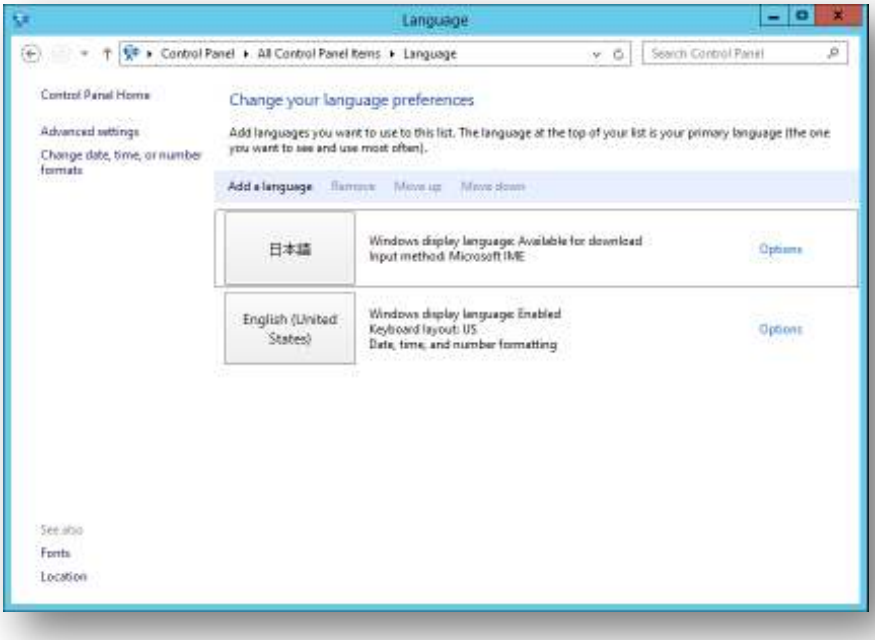
[日本語] の [Option] をクリックします。



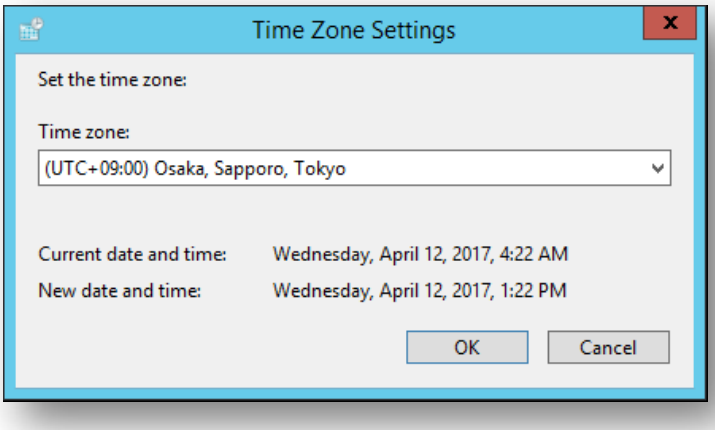
[Download and install language pack] をクリックし、ダウンロードとインストールを行います。(約 10 分)



［日本語］を選択し、［Move up］をクリックし、一番上にします。



［Time Zone］も［(UTC +9:00) Osaka, Sapporo, Tokyo］にします。



設定後、OS をログオフ／ログオンをすることで日本語化されます。

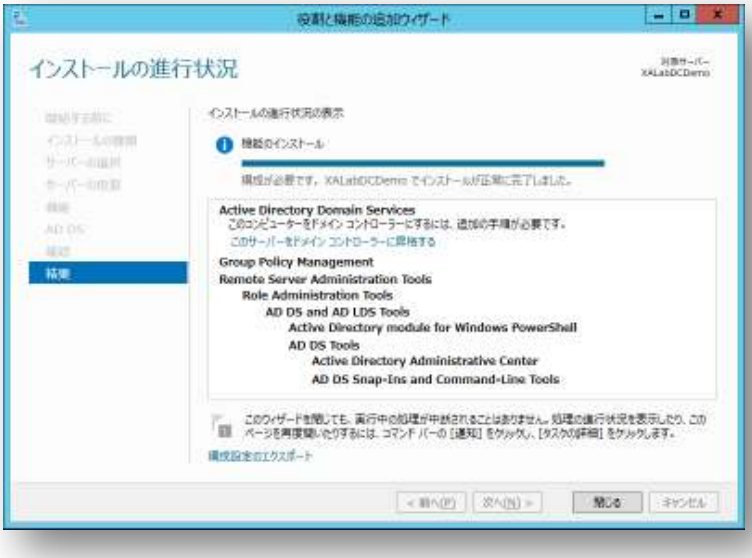
※　ここまでの手順で、2-2-2. 仮想ネットワークの作成 の［仮想ネットワークの DNS 設定］が行えるようになりました。未設定の場合は次の手順に入る前に、［仮想ネットワークの DNS 設定］を行ってください。または、先に［仮想ネットワークの DNS 設定］を行い、指定した IP アドレスを使用して静的 IP アドレスを割り当てる方法もあります。

【ドメインコントローラーの作成】

上記で作成した仮想マシンに、ドメインコントローラーの役割と機能を追加します。

ドメインコントローラーのパラメータサンプルは以下の通りです。

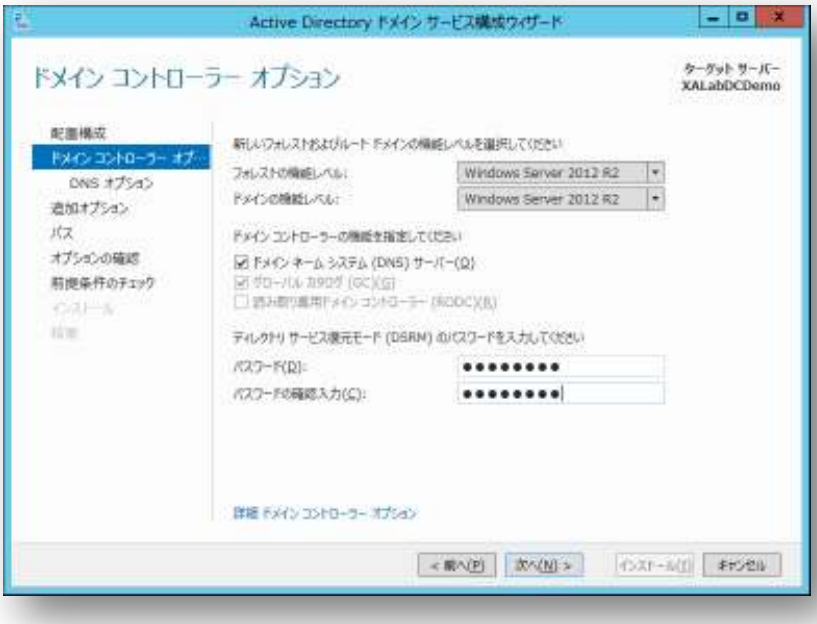
項目	Sample
ドメイン名	XA-LabDemo.local
フォレストの機能レベル	Windows Server 2012 R2
ドメインの機能レベル	Windows Server 2012 R2
復元モードのパスワード	--------
NetBIOS ドメイン名	XA-LABDEMO



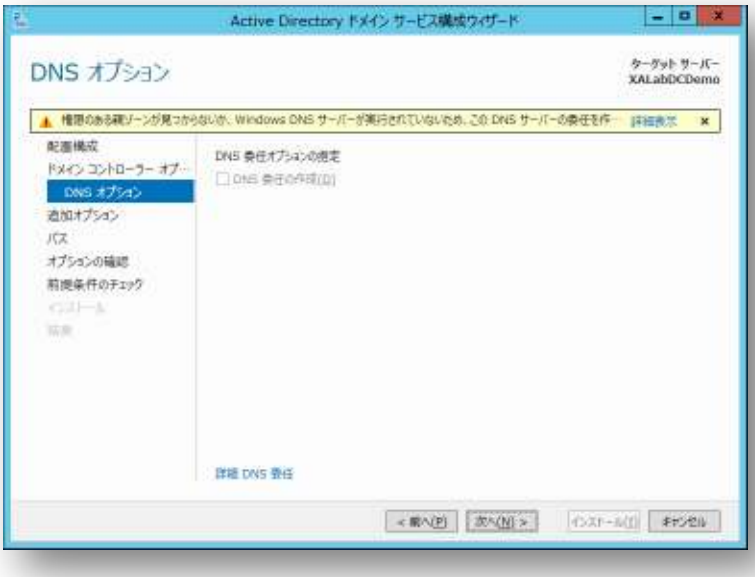
インストール後、サーバーマネージャより構成を行います。

［ルートドメイン名］を入力します。

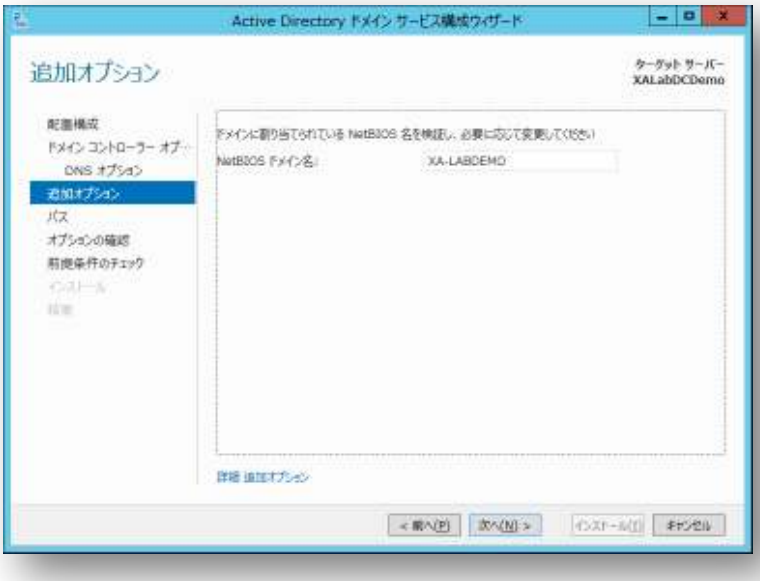
［フォレストの機能レベル］と［ドメインの機能レベル］は既定値のまま（変更してもかまいません)、ディレクトリサービス復元モードの［パスワード]、[パスワードの確認入力］を入力します。また、今回はドメイン コントローラーが DNS を兼ねるため、[ドメイン ネーム システム（NDS）サーバー］をオンにします。



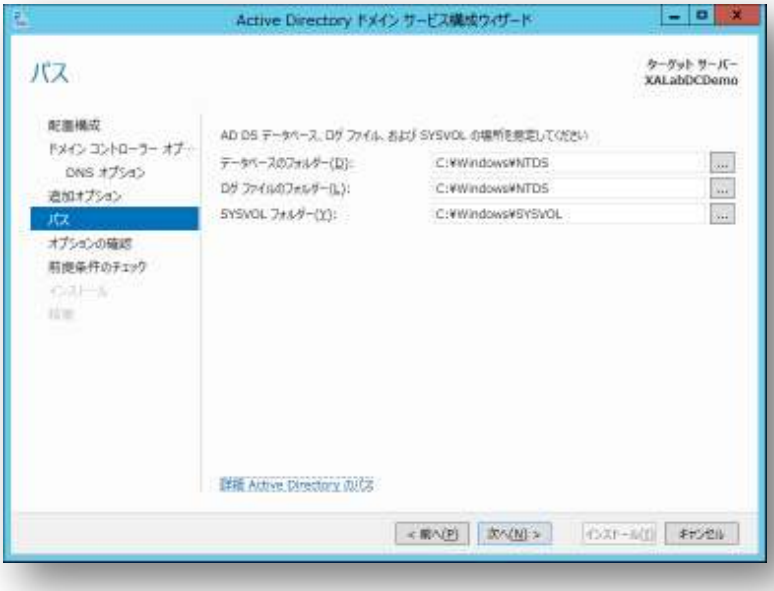
DNS の委任は設定せず、[次へ] をクリックします。



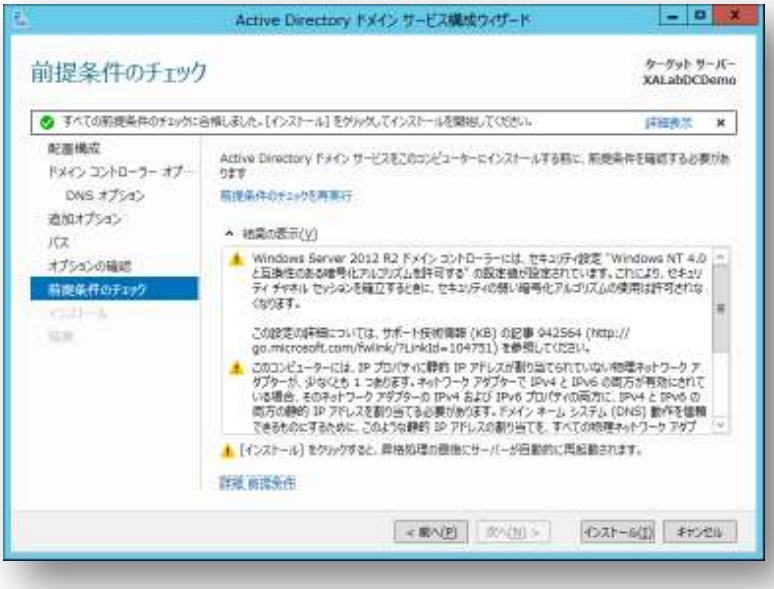
NetBIOS 名を確認し、[次へ] をクリックします。



AD DS データベースやログの設定を行います（今回は既定値のままです)。



Active Directory の構成を完了させます。



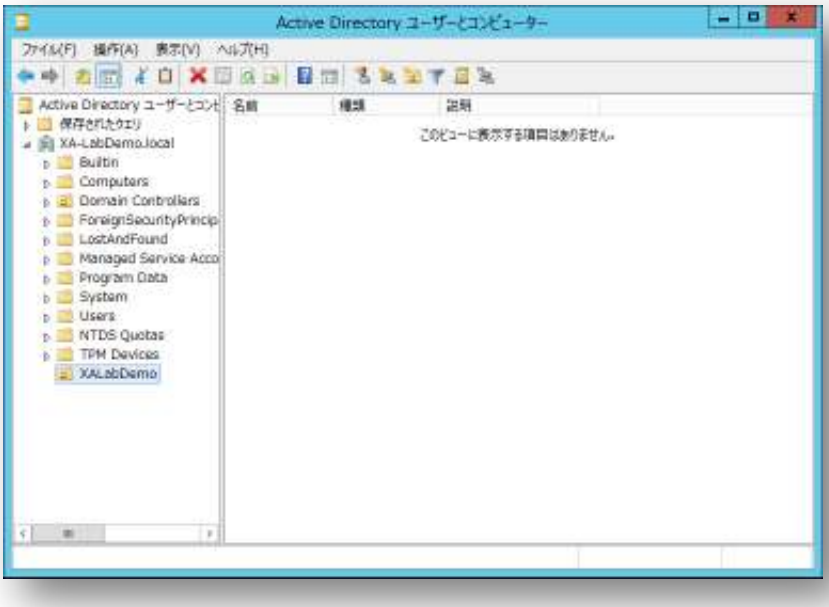
【OU とユーザーの作成】

ドメインコントローラーの作成と構成が完了した後、XenApp Essentials Service 用の組織構成（OU）と、その配下にサービス提供ユーザーの作成を行います（OU の作成は必須ではありません)。

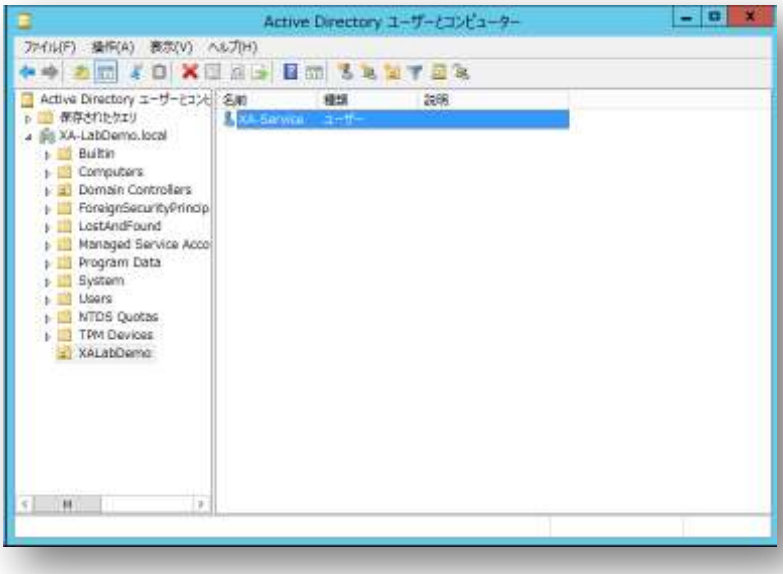
サービスユーザーは、ドメインに対し Domain Admins 及び Enterprise Admins の権限を与える必要があります。今回は以下の設定で構成しました。

項目	Sample
組織構成（OU）	XALabDemo (OU=XALabDemo,DC=XA-LabDemo,DC=local)
サービスユーザー	XA-Service (Domain Users、Domain Admins、Enterprise Admins)

OU を作成します。



サービスユーザーを作成します。



Domain Admins、Enterprise Admins の権限を付与します。

2-4. Citrix Cloud の構成

2-4-1. マスターイメージの準備

はじめに、XenApp Essentials Service で配布するアプリケーションのマスターイメージを作成します。マスターイメージの OS は、Windows Server 2012 R2　と　Windows 2016 Server のみサポートされています。また、SSD はサポートされていません。HDD を利用して仮想マシンを作成します。

仮想マシンの作成は、3-3 ドメインコントローラーの構成にある、仮想マシンの作成部分を参考にして下さい。

Azure Resource Manager を使ってマスターイメージを作成します。

1. Azure Portal にログイン
2. Windows Server 2012 R2 或いは Windows 2016 server の仮想マシンを作成
   既存マシンを利用する場合、リソースグループ、仮想ネットワーク、ストレージアカウントの関連付けを行ってください。但し、sysprep を利用した仮想マシンは利用できないので注意してください。

今回利用したマスターイメージのパラメータ サンプルは以下の通りです。

【マスターイメージ】　※ Windows Server 2012 R2 と Windows 2016 Server のみ可。

項目	Sample
OS	Windows Server 2012 R2 Datacenter
デプロイモデル	Resource Manager

【基本設定の構成】　※ SSD 利用不可。HDD を選択する。

項目	Sample
名前	VDADEMO01
VM ディスクの種類	HDD
ユーザー名	LabAdmin
パスワード	------
サブスクリプション	CitrixLab
リソースグループ	XAEssentialsDemo
場所	西日本

【仮想マシンのサイズの選択】

項目	Sample
仮想マシンのサイズ	D1_V2 Standard

【オプション機能の構成】

項目	Sample
管理ディスクを使用	いいえ
ストレージアカウント	xaessentialsdemodisk837　（自動）
Virtual Network	XA-VnetDemo
サブネット	default(10.1.0.0/24)
パブリック IP アドレス	VDADemo-ip
ネットワークセキュリティグループ	VDADemo-nsg
拡張機能	拡張機能なし
可用性セット	なし
ブート監視	有効
ゲスト OS の診断	無効
診断ストレージアカウント	xaessintialslabdiag120　（自動）

3. 仮想マシンを起動し、接続します。
4. 仮想マシンに配布したいアプリケーションをインストールします。このアプリケーションは Citrix Receive r にログインした時に配布されます。
5. XenApp and XenDesktop Service のダウンロードページよ り Server OS Virtual Delivery Agent （以降 VDA） をダウンロードします。
   https://www.citrix.com/downloads/citrix-cloud/product-software/xenapp-and-xendesktop-service.htm

6. ダウンロードしたインストーラーを右クリックし、[管理者として実行] をクリックし、仮想マシンに VDA をインストールします。

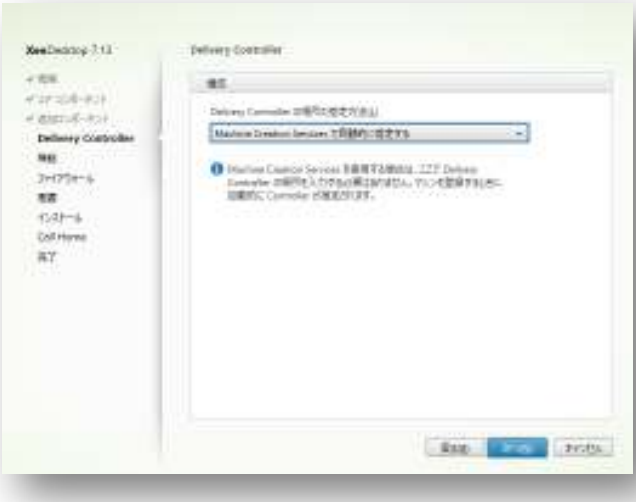
7. Citrix Receiver と App-V のインストールはスキップします。また、その他の設定はデフォルトを使用して下さい。

   [マスター イメージを作成する] をオンにします。

「Citrix Receiver」をオフにします。

[Citrix Personalization for App-V] をオフにします。

[Delivery Controller の場所の指定方法] は、[Machine Creation Service で自動的に指定する] を選択します。



以降の設定は既定値を利用します。

ファイアウォールも既定値（自動）で、「次へ」をクリックします。

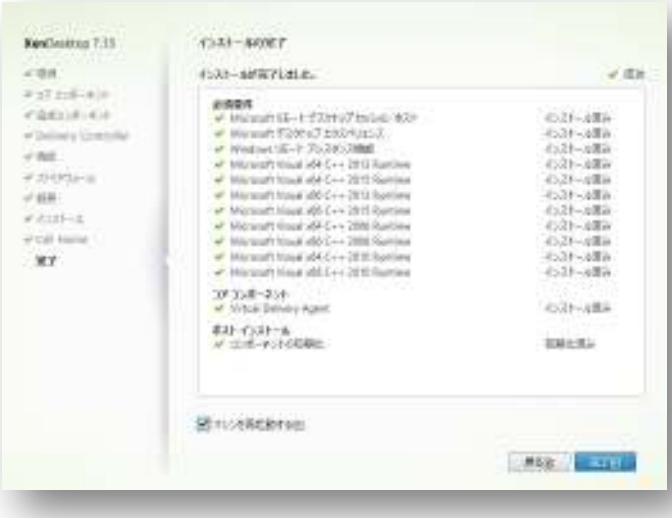
［インストール］をクリックし、インストールを開始します。

インストールの途中で再起動が促されます。

8. VDA を再起動し、画面に従ってインストールを完了させます。

[Call Home] の選択のポップアップが上がります。今回は参加しないを選択します。

インストールが完了したら、再び仮想マシンを再起動します。



9. VDA を起動し、設定が正しい事を確認します。
10. 仮想マシンをシャットダウンします。

2-4-2. Azure Subscription へのリンク設定

次に、Citrix Cloud で、XenApp Essentials Service と Azure Subscription の関連付けを行います。

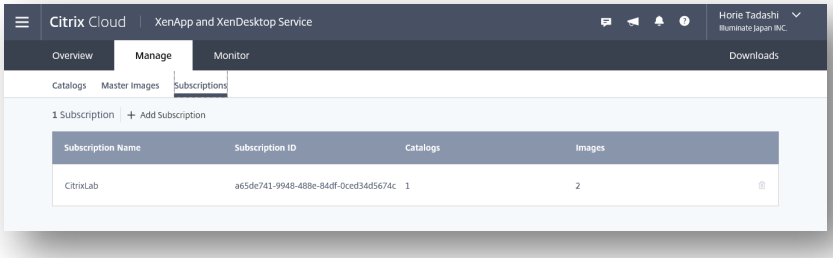
【Azure Subscription の関連付け】

1. Citrix Cloud にログインします。

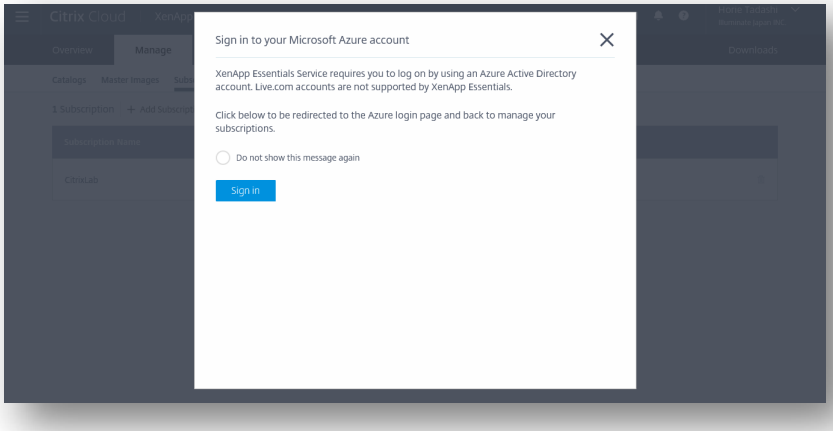
https://accounts.cloud.com/core/login

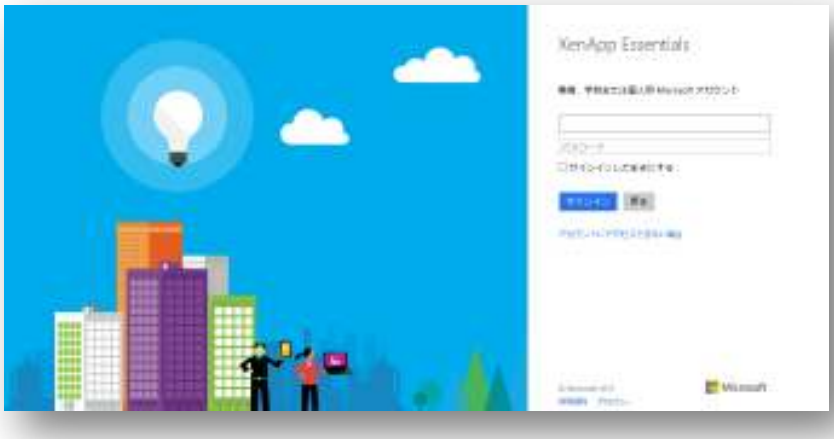
XenApp and XenDesktop Service の［Manage］をクリックします。

2. ［Manage］タブで、［Subscriptions］をクリックします。

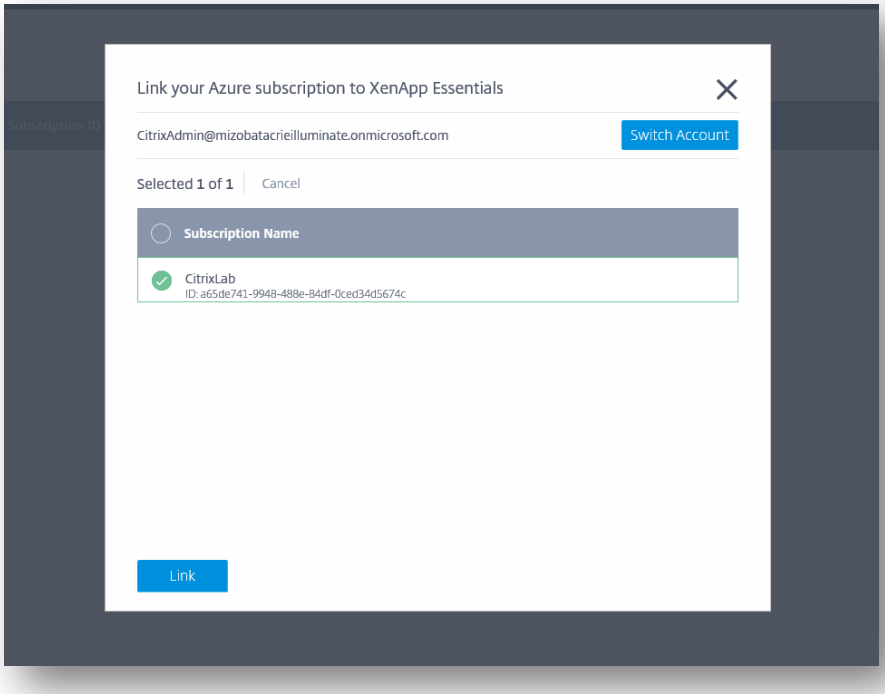


3. ［+Add Subscription］をクリックします。
4. Azure Subscription にログインします。この時のアカウントは Global Administrator でログインします。





5. XenApp Essentials Service が Azure アカウントにアクセスする事を許可します。
許可を有効にできるサブスクリプションが列挙されます（Global Administrator としてログインしたアカウントが管理可能なサブスクリプションのみが列挙されます)。

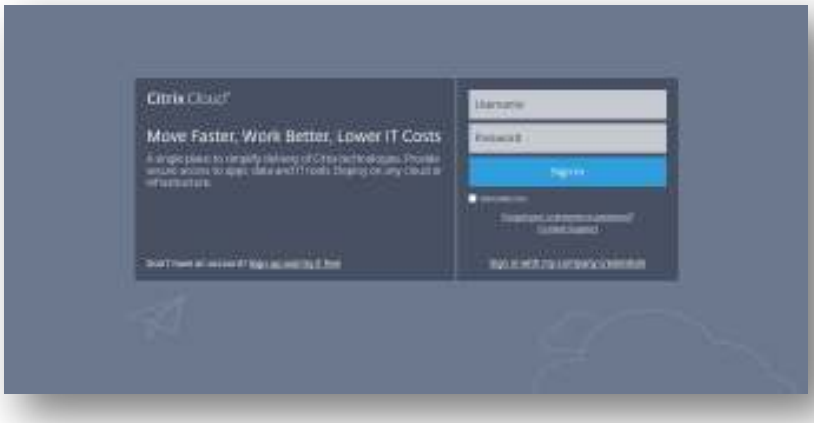


6. 利用したいサブスクリプションを選択し、[Link] をクリックします。
XenApp Essentials Console に戻ると、サブスクリプションが Linked のステータスになります。

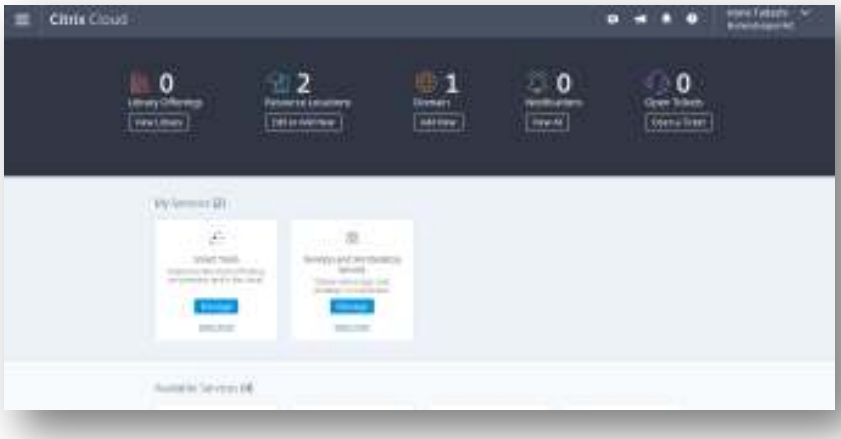
【マスターイメージのアップロード】

前項で作成したマスターイメージをアップロードします。

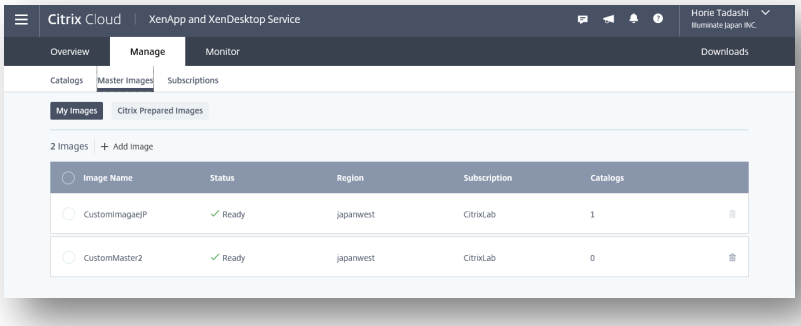
1. Citrix Cloud にログインします。
https://accounts.cloud.com/core/login



XenApp and XenDesktop Service の［Manage］をクリックします。

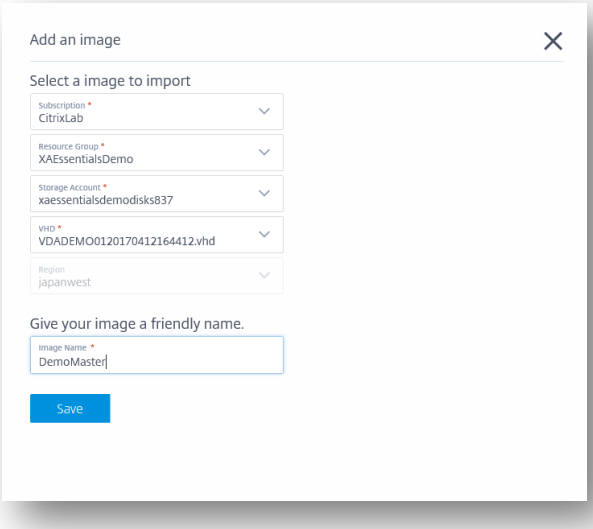


2. Manage タブで、[Master Images] をクリックします。

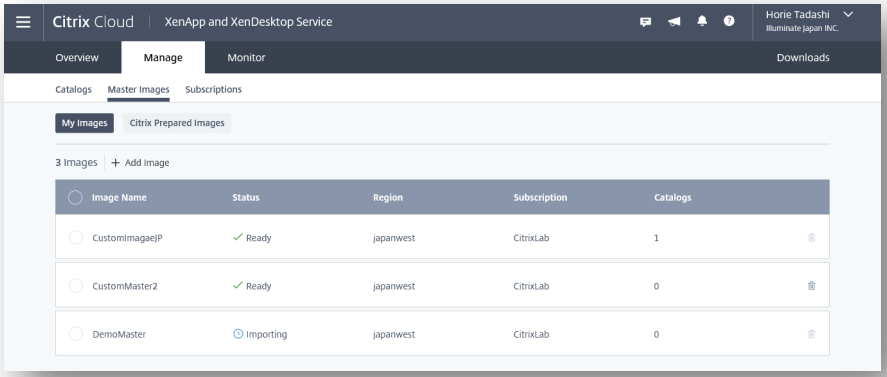


3. [+Add Image] をクリックします。
   [Add an image] のページが開きます。
4. 以下の項目を選択し、VHD ファイルを指定します。

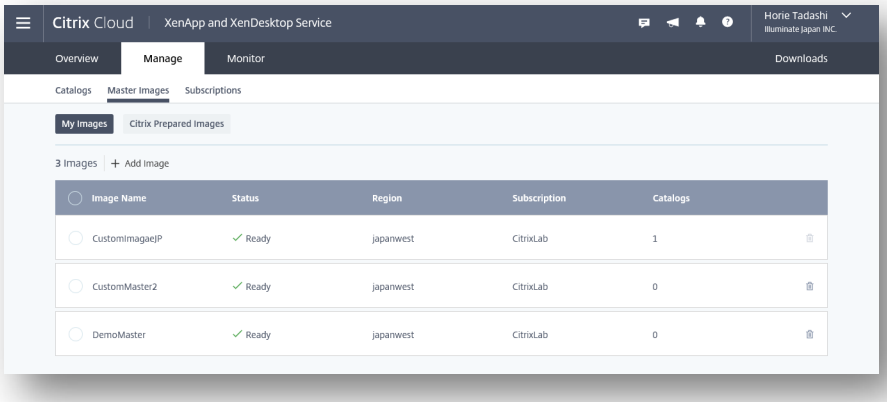
項目	Sample
Subscription	CitrixLab
Resource Group	XAEssentialsDemo
Storage Account	xaessentialsdemodisk837
VHD	VDADEMO0120170412164412.vhd
Region	japanwest
Image Name	DemoMaster



5. ［Save］をクリックします。
イメージを保存した時、XenApp Essentials Service はマスターイメージを確認します。確認後、［Master Images］–［My Images］ページにイメージが表示されます。



約 30 分後、Status が［Ready］となり、アップロードが完了します。



2-4-3. カタログの作成

カタログとは、上項で作成してきた各々のリソースと、マスターイメージや配布サーバー（VDA）のサイジング等をリスト化しているものです。
XenApp Essentials Service は、カタログと配布グループ及びユーザーの組み合わせにより、簡単にアプリケーションの配布が管理できるようになっています。

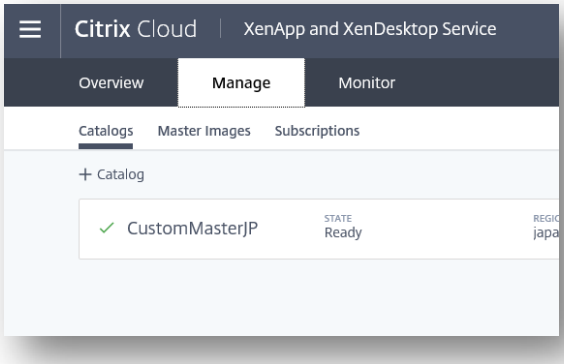
カタログを追加するには、下記の設定を行う必要があります。

- カタログ名の設定
- カタログの Azure サブスクリプションへの関連付け
- カタログのドメイン参加
- マスターイメージの選択
- Capacity と manage the Cost の選択

以下、手順に従ってカタログを追加していきます。

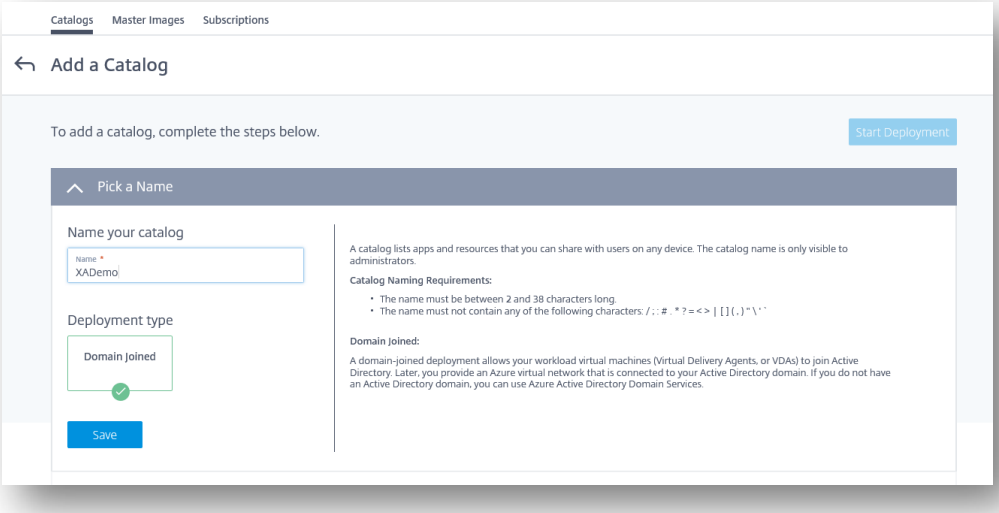
【カタログの作成】

1. Citrix Cloud へログインします。
2. XenApp and XenDesktop Service を選択します。
3. Manage タブで Catalogs をクリックし、[+Catalog] をクリックします。



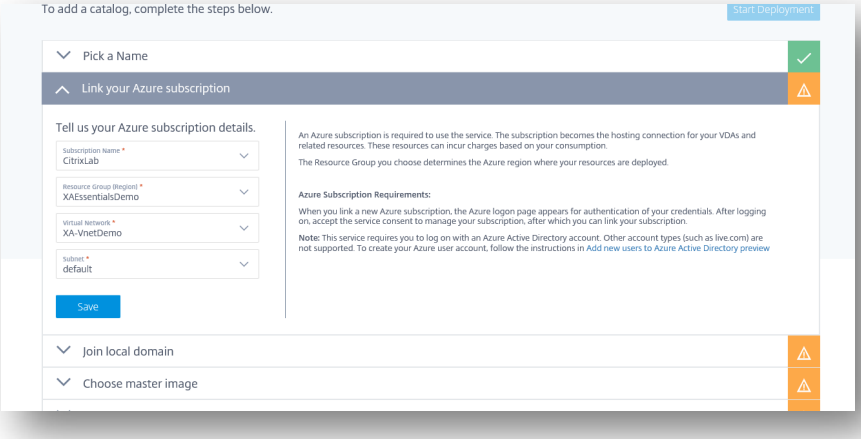
4. Add a Catalog のページで、[Pick a Name] にカタログ名を入力し、[Save] をクリックします。

項目	Sample
カタログ名	XADemo



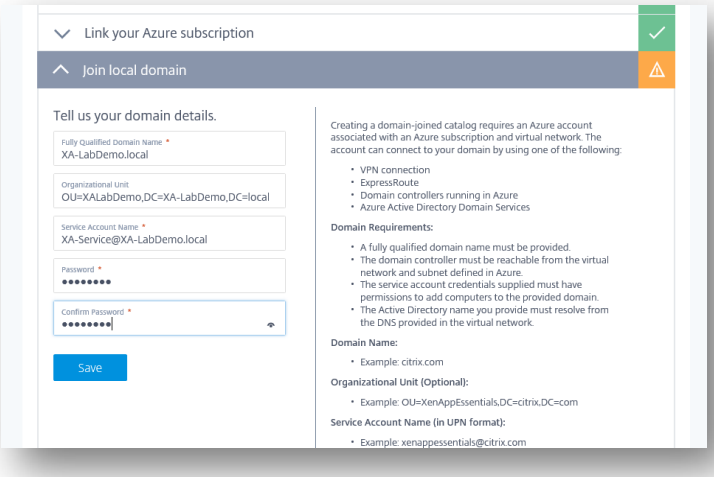
5. サブスクリプションを関連付けるために、サブスクリプションの詳細を入力します。既存のサブスクリプション又は新しくサブスクリプションを作成することもできます。本項では既存のサブスクリプションを利用するため、以下の手順を行います。
   a. Subscription Name からサブスクリプションを選択
   b. Resource Group (Region) で、Azure サブスクリプションの所属するリソースグループを選択します。Azure サブスクリプションの設定で作成したリソースグループを指定してください。XenApp Essentials Service はそのリソースグループに Cloud Connectors を作成します。
   c. Virtual Network も Azure サブスクリプションの設定で作成した仮想ネットワークを指定します。こちらも Azure サブスクリプションの設定で作成した仮想ネットワークを指定してください。また、仮想ネットワーク上に作成された仮想マシンが DNS を使ってドメインコントローラーに到達できるようにしてください。

d. Azure サブスクリプションが所属するサブネットを選択し、[Save] をクリックします。



項目	Sample
Subscription Name	CitrixLab
Resource Group	XAEssentialsDemo
Virtual Network	XA-VnetDemo
Subnet	default

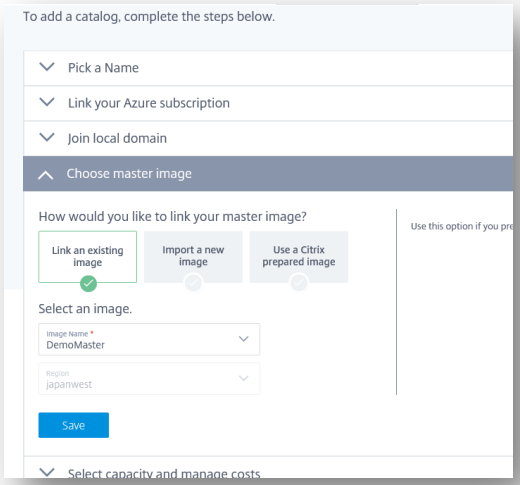
6. Local Domain への参加するための情報を入力します。
   a. [Full Qualified Domain Name] に、ドメインの FQDN を入力します。
   b. [Organizational Unit] に OU を入力します。
   c. [Service Account Name] でドメイン参加やマシン作成ができるアカウントを UPN で指定します。



項目	Sample
Full Qualified Domain Name	XA-LabDemo.local
Organizational Unit	OU=XALabDemo,DC=XA-LabDemo,DC=local
Service Account Name	XAService@XA-LabDemo.local
Password	-------
Confirm Password	-------

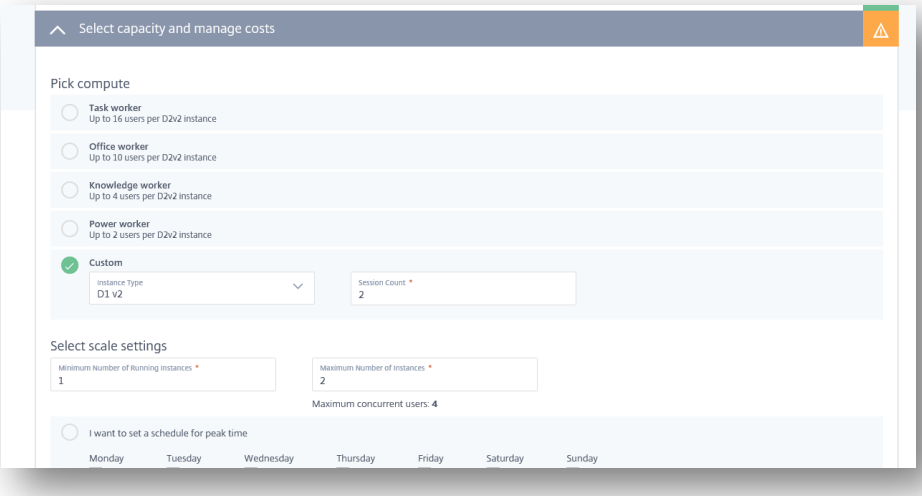
7. Choose master image で、前項で作成したマスターイメージの情報を入力します。
   a. ［Link an existing image］が選択されていることを確認します。
   b. ［Image Name］で、作成したイメージを選択し［Save］をクリックします。

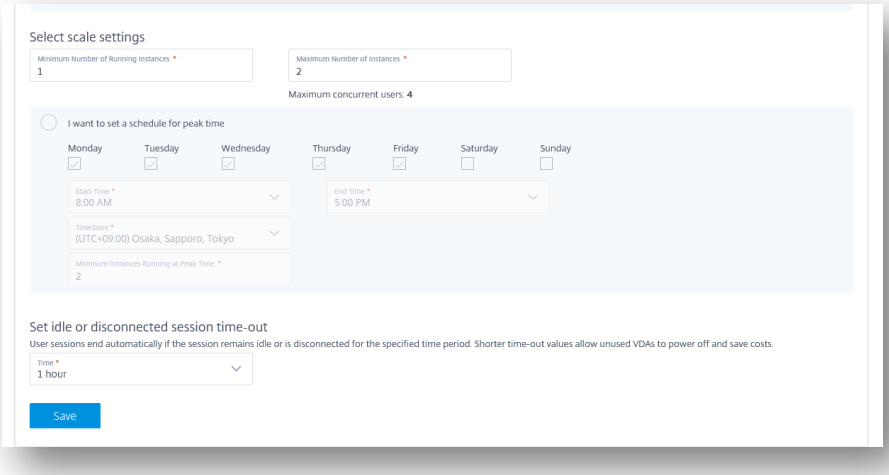
項目	Sample
Image Name	DemoMaster



8. ［Select Capacity and Manage Cost］では、Cloud Connector（本節 5-b）のサーバーのサイジングを行います。以下パラメータは最小値となるので必要に応じて変更してください。

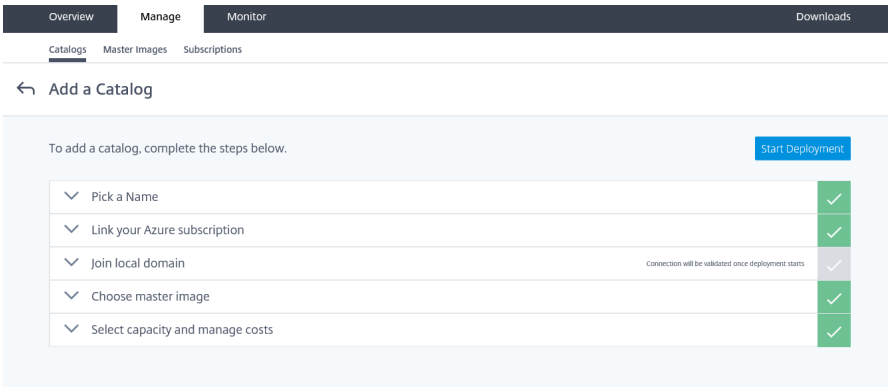
項目	Sample
Pick compute	Custom
Instance Type	D1 v2
Session Count	2
Minimum Number of Running Instances	1
Maximum Number of Instance	2
Set idle or disconnected session time-out	1hour



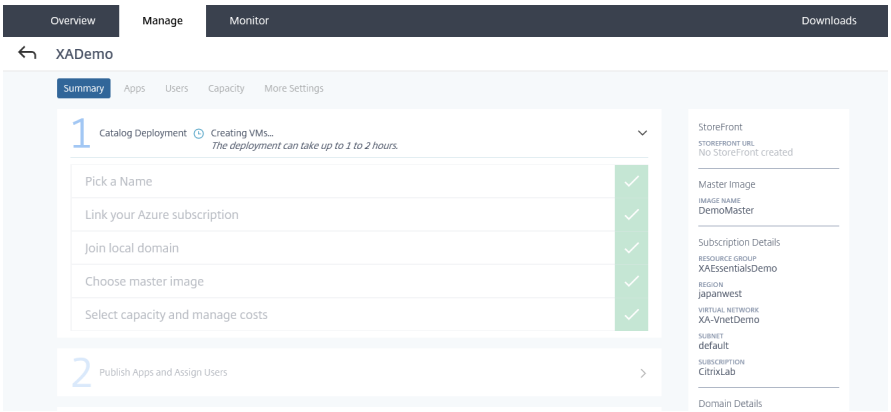


9. Save をクリックします。

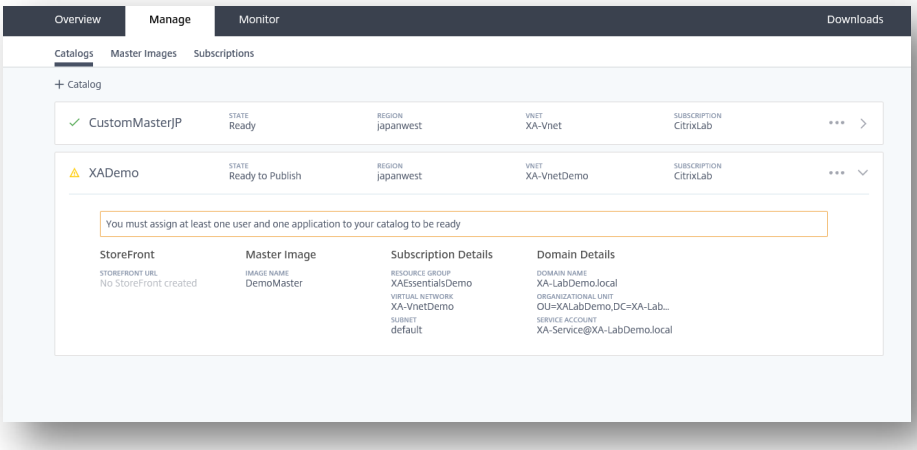
カタログの設定を行った後、[Start Deployment] をクリックし、カタログ作成を開始します。この処理は 1 ～ 2 時間程掛かります。また、仮想マシンの数によっては更に時間が掛かります。



仮想マシンの数にもよりますが、最小で約 2 時間必要となります。



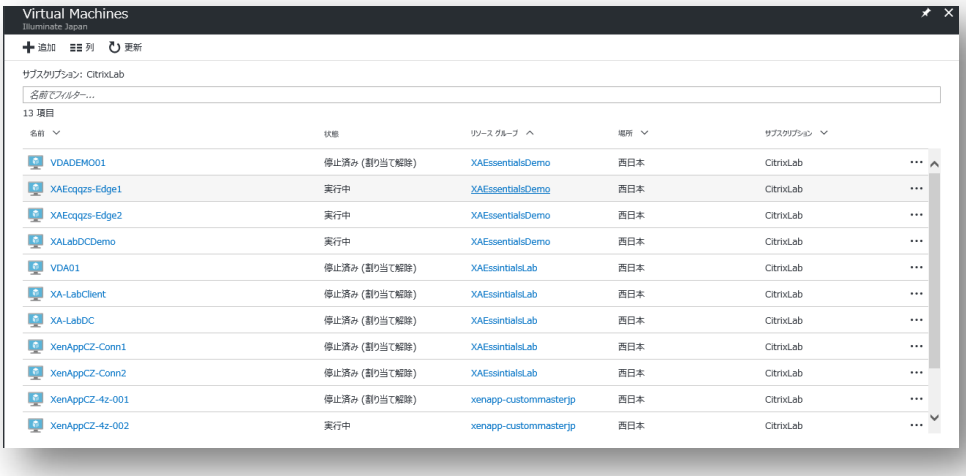
カタログのデプロイが完了したら、アプリケーションとユーザーとグループを割り当てることができます。カタログ作成を完了させるには、最低１つアプリケーションとユーザーを割り当て、アプリケーションを発行する必要があります（次項参照)。



また、カタログのデプロイ処理によって自動的に新たなリソースグループと、その配下にVDA、Cloud Connector が作成されます。

【自動作成されたもの】

項目	Sample
リソースグループ	XenApp-XADemo
VDA	XAExqqzs-pl-001 XAExqqzs-pl-002
Cloud Connector	XAEcqqzs-Edge1 XAEcqqzs-Edge2



【参考】
配布するアプリケーションをアップデート又は追加するには、マスターイメージをアップデートし、カタログをアップデートします。

【Master Image のアップデート】

1. マスターイメージの仮想マシンを起動します。
   仮想マシンを起動するだけでは、Microsoft Azure でインストールされた master image には影響しません。
2. 仮想マシンにアプリケーションのインストールやアップデートを行います。
3. インストール後、仮想マシンをシャットダウンします。
4. Citrix Cloud の XenApp Essentials Service コンソールで、仮想マシン VHD ファイルへのパスを含む新しいイメージを追加します。

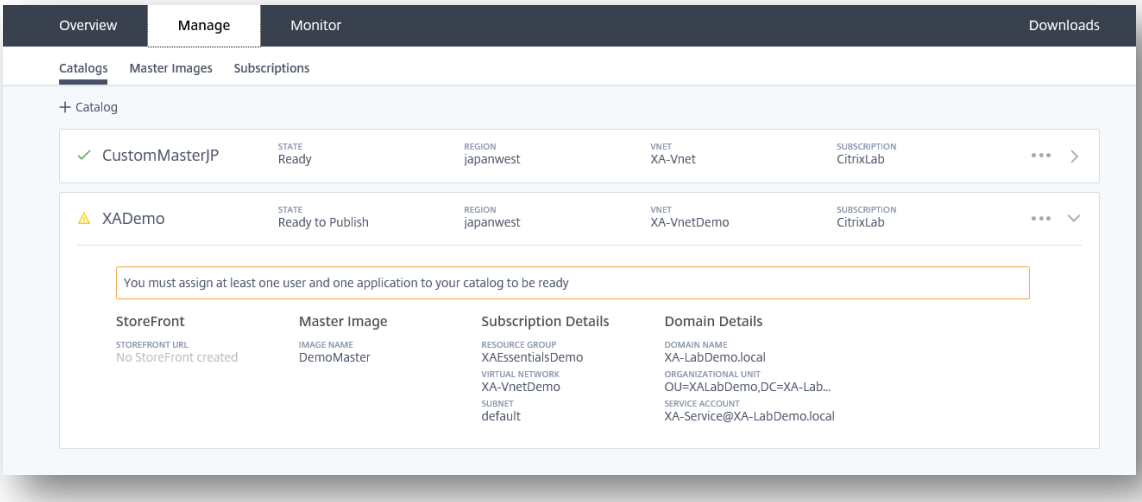
【Catalog のアップデート】

1. Manage タブで Catalogs をクリックします。
2. アップデートしたい Catalog Image を選択します。
3. 既存のイメージまたは新しいイメージをインポートし、選択します。
4. セッションが終わる前の自動ログオフの時間を選択します。
5. Update をクリックし、Master Image をアップデートします。

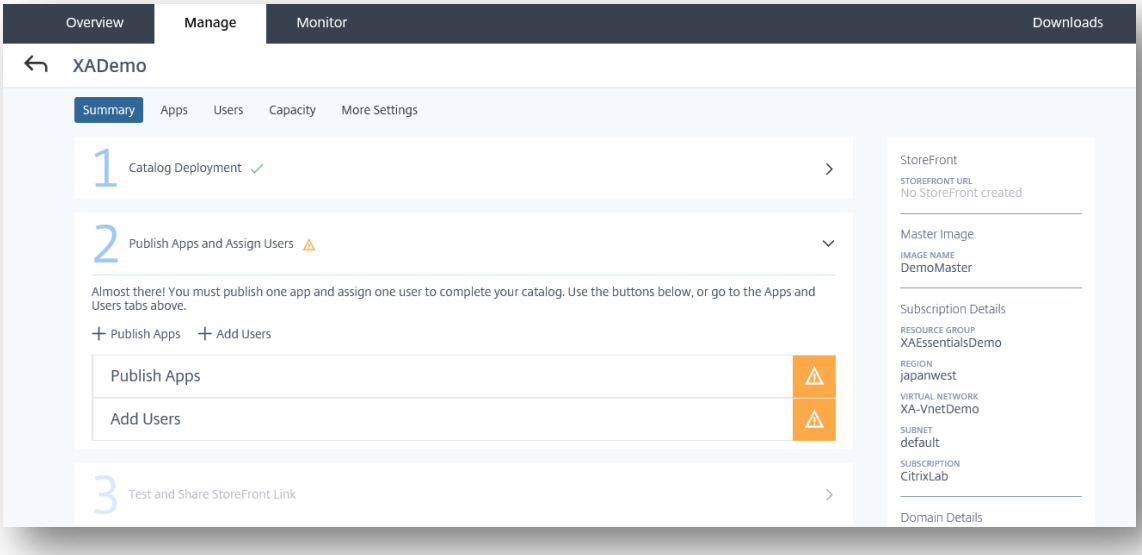
3.　アプリケーションの発行

カタログのデプロイ後に、アプリケーションを発行します。

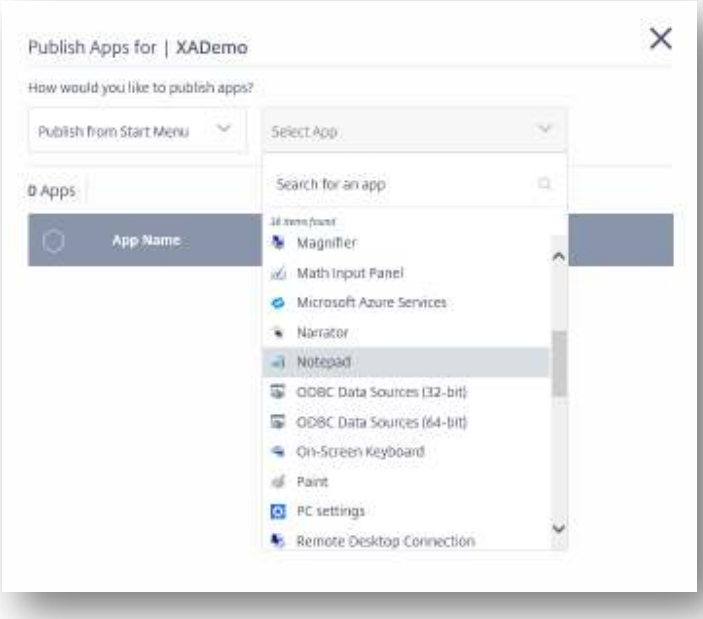
1. Citrix Cloud にログインし、XenApp Essentials Service を開きます。
2. [Manage] タブで [Catalogs] をクリックします。
3. アプリケーションを発行したい Catalog (XADemo) を選択します。



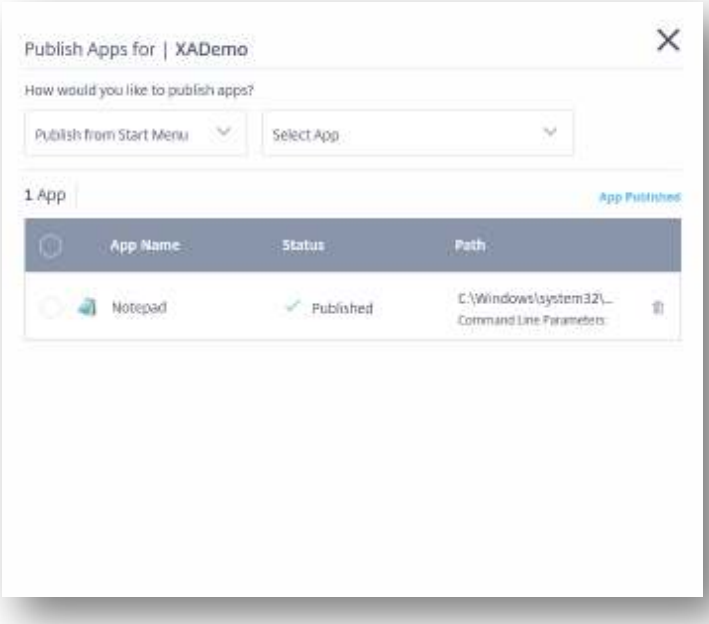
5. [Publish Apps] をクリックします。



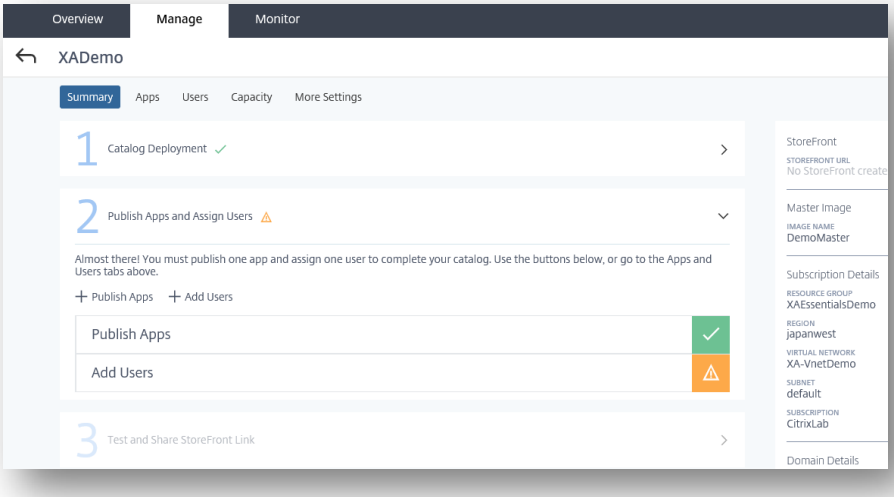
6. [Publish Apps for <catalog name>] のページで、発行するアプリケーションをリスト内から選択します。ここでは [Notepad] を選択します。



選択後、以下の画面では何もせず [×] をクリックしてダイアログを終了します。



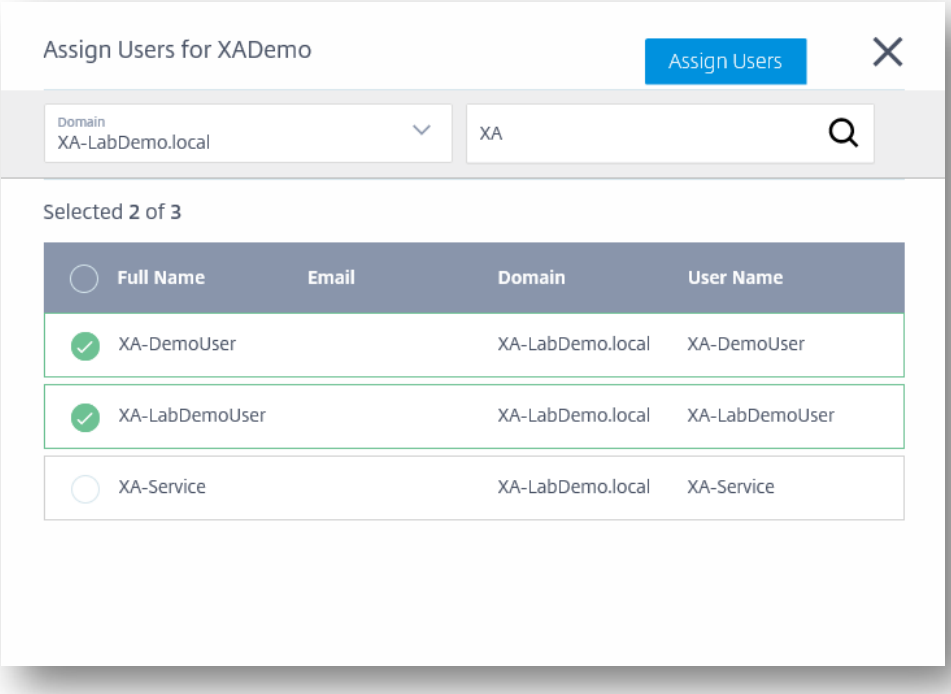
7. [Add Users] をクリックし、アプリケーションを配布するユーザーを選択します。



ユーザーを作成していない場合は、ドメイン内にユーザーを作成します。
ドメイン全体でユーザー検索が行われるため、どの OU に所属していても構いません。
（参考）

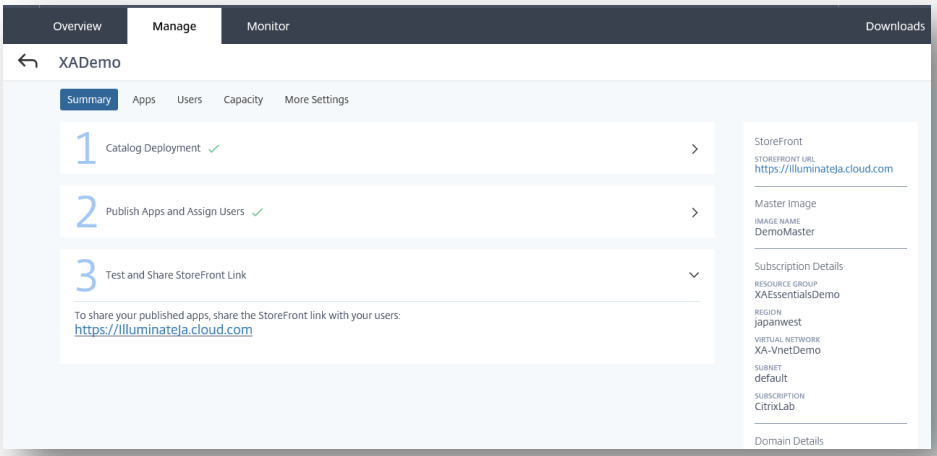
XA-LabDemoUser : XALabDemo の OU 配下のユーザー

XA-User : User の OU 配下のユーザー



[Assign Users] をクリックし、ユーザーを割り当てます。
以上で、XenApp Essentials Service の設定が一通り完了し、ユーザーが利用できるようになります。

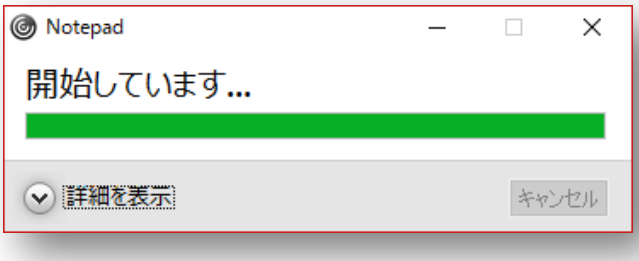
7. [Test and Share Storefront Link] から、アプリケーションの配布テストを行います。
画面に表示されているハイパーリングをクリックします。



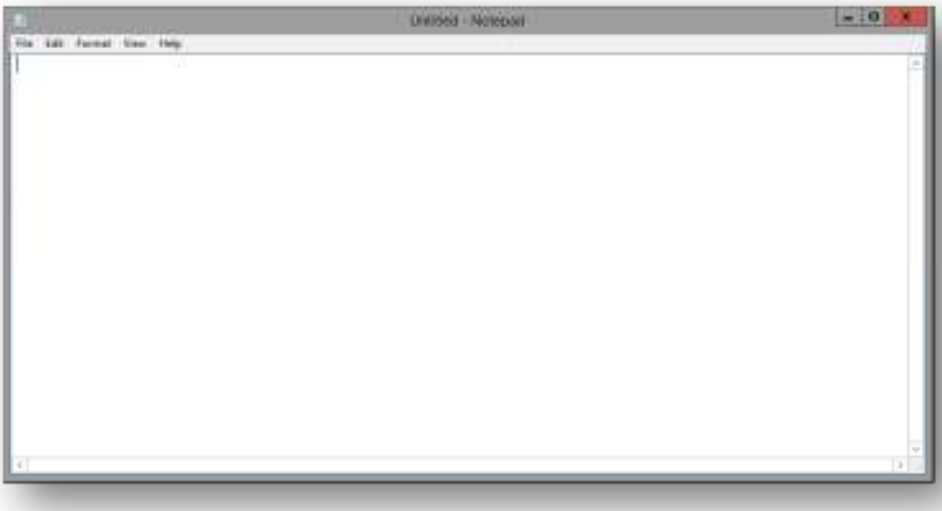
StoreFront のログイン画面に遷移するので、<ドメイン名>¥<アプリケーションの配布を割り当てたユーザー> でログインします。

配布設定を行ったアプリケーションがリスト表示されるので、起動したいアプリケーションをクリックします。

アプリケーションの起動処理が開始します。



アプリケーションが利用可能であることを確認します。



APPENDIX

セットアップパラメータ

本ドキュメントで利用したパラメータは以下となります。

Citrix Cloud

項目	Sample
Citrix Cloud アカウント	<account name>@<your domain>

Azure サブスクリプション

項目	Sample
サブスクリプション	CitrixLab
Global Administrator	<account name>@<subscription domain>

Azure リソースグループ

項目	Sample
リソースグループ名	XAEssentialsDemo
サブスクリプション	CitrixLab
リソースグループの場所	西日本

Azure 仮想ネットワーク

項目	Sample
仮想ネットワーク名	XA-VnetDemo
アドレス空間	10.1.0.0/24
サブネット名	default
サブネット アドレス範囲	10.1.0.0/24
リソースグループ	XAEssentialsDemo
場所	西日本

ドメインコントローラー

項目	Sample
OS	Windows Server 2012 R2 Datacenter
デプロイモデル	Resource Manager
基本設定の構成	
名前	XALabDCDemo
VM ディスクの種類	HDD
ユーザー名	LabAdmin
パスワード	------
サブスクリプション	CitrixLab
リソースグループ	XAEssentialsDemo
場所	西日本
仮想マシンのサイズの選択	
仮想マシンのサイズ	D1_V2 Standard
オプション機能の構成	
管理ディスクを使用	いいえ
ストレージアカウント	xaessentialsdemodisk837　（自動）
Virtual Network	XA-VnetDemo
サブネット	default(10.1.0.0/24)
パブリック IP アドレス	XALabDCDemo-ip
ネットワークセキュリティグループ	XALabDCDemo-nsg
拡張機能	拡張機能なし
可用性セット	なし
ブート監視	有効
ゲスト OS の診断	無効
診断ストレージアカウント	xaessintialslabdiag120　（自動）

マスターイメージ

項目	Sample
OS	Windows Server 2012 R2 Datacenter
デプロイモデル	Resource Manager
基本設定の構成	
名前	VDADEMO01
VM ディスクの種類	HDD
ユーザー名	LabAdmin
パスワード	------
サブスクリプション	CitrixLab
リソースグループ	XAEssentialsDemo
場所	西日本
仮想マシンのサイズの選択	
仮想マシンのサイズ	D1_V2 Standard
オプション機能の構成	
管理ディスクを使用	いいえ
ストレージアカウント	xaessentialsdemodisk837　（自動）
Virtual Network	XA-VnetDemo
サブネット	default(10.1.0.0/24)
パブリック IP アドレス	VDADEMO01-ip
ネットワークセキュリティグループ	VDADEMO01-nsg
拡張機能	拡張機能なし
可用性セット	なし
ブート監視	有効
ゲスト OS の診断	無効
診断ストレージアカウント	xaessintialslabdiag120　（自動）

Citrix Cloud Add an Image

項目	Sample
Subscription	CitrixLab
Resource Group	XAEssentialsDemo
Storage Account	xaessentialsdemodisk837
VHD	VDADEMO0120170412164412.vhd
Region	japanwest
Image Name	DemoMaster

カタログ作成

項目	Sample
カタログ名	XADemo

Link your Azure subscription

項目	Sample
Subscription Name	CitrixLab
Resource Group	XAEssentialsDemo
Virtual Network	XA-VnetDemo
Subnet	default

Join local domain

項目	Sample
Full Qualified Domain Name	XA-LabDemo.local
Organizational Unit	OU=XALabDemo,DC=XA-LabDemo,DC=local
Service Account Name	XAService@XA-LabDemo.local
Password	-------
Confirm Password	-------

Choose master image

項目	Sample
Image Name	DemoMaster

Select Capacity and Manage Cost

項目	Sample
Pick compute	Custom
Instance Type	D1 v2
Session Count	2
Minimum Number of Running Instances	1
Maximum Number of Instance	2
Set idle or disconnected session time-out	1hour